

FUJITSUイメージスキャナからの バーコード情報 活用プログラム

KDbar1_fi/KDbar2_fi



Kernel Computer System
カーネルコンピュータシステム株式会社

【概要】

FUJITSUイメージスキャナ(fiシリーズ)からデータ(用紙)を取り込む処理を対象にしたアプリケーションです。バーコード画像を含む用紙をスキャナから取り込む時に**バーコードの情報を読み取り出力ファイル名に利用**します。また、読み取ったバーコード情報をもとにして**仕分け、CSV(テキスト)出力、ページの削除、キーワード別配信・ファイル名詳細・階層出力・比較(オプション)**を行うことができます。



【バーコード情報の読み取りとは】

バーコード情報の読み取りとは、用紙の中からバーコード画像の部分を自動的に探しだし、バーコードの情報を読み取る処理です。OCR機能と似ていますがOCR機能と比較して誤認識率が非常に低いことが特長で、スキャナからバーコードを可読できるイメージを取り込むことができればどのような用紙からでも精度の高い情報取得を行い利用することができます。

【認識対応バーコード一覧】

名称	内容
QR	QRコード。型番は任意。(2次元)
MICROQR	マイクロQRコード。型番は任意。(2次元)
CODE39/128	Code39/128。桁数は任意。
GS1-128 (EAN128)	Code128のうち、UCC/EAN128規格に適合するもの。
PDF417	PDF417バーコード。(2次元)
JAN8/13	JANおよびEANコードのうち、8/13桁のもの。
ITF	ITF。桁数は任意。
NW-7	NW-7。桁数は任意。
CUSTOMER	郵便カスタマバーコード。
GS1 DataBar (RSS)	RSSバーコード。(7種類のタイプをサポート)
GS1合成シンボル	GS1合成シンボル。 合成コンポーネントタイプ、リニアコンポーネントタイプは任意。(※2次元)
BLANK	空白ページの認識が可能。(空白をバーコードに置換)

[CSV出力機能&仕分け機能]

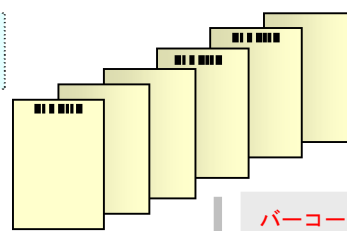
バーコードの内容をCSV(テキスト)
ファイルに出力

	出力 ファイル名	バーコード 種別	角度	バーコード 内容
	A	B	C	D
1	Test_1.bmp	code39	0	1230A
2	Test_2.bmp	code128	90	12345
3	Test_3.bmp	QR	0	東京都

出力する情報を以下の項目から選択することができます。

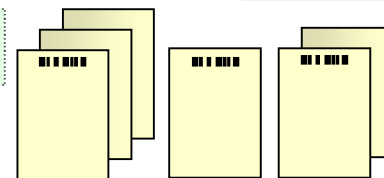
- ・処理対象となったファイル名(カウンタ番号)、出力ファイル名
- ・バーコードの内容、種別、角度、位置(x, y)
- ・マルチページ出力においてバーコードが検出されたページ番号
- ・処理を行った日付時間

仕分け
前



バーコードの内容
による仕分け機能

仕分け
後



仕分け方法を以下の項目から選択することができます。

- ・バーコード情報を検出したページごとに区分けして出力をおこなう。
- ・バーコードの内容(同じ情報)単位に仕分けをおこなう。

[商品導入の背景、狙い]

- ① スキャナより取り込んだデータからバーコード情報を読み取り出力ファイル名にできるためバーコードから出力ファイル名の名前付けを自動的に行うことができます。
- ② スキャナより取り込んだデータからバーコード情報を読み取り出力ファイル名やCSVファイルに出力することによって文字検索などテキスト情報として活用することができます。
- ③ マルチページの取り込みと出力において読み取ったバーコード情報ごとに区分けして出力する、同じ情報のファイルをまとめて出力することができるため出力ファイルの仕分けを自動的に行うことができます。
- ④ スキャナより取り込んだデータからバーコード情報を読み取りバーコードがないデータを削除します。バーコードによって必要なデータのみ取り込み、不必要なデータを削除する処理を自動的に行うことができます。逆のケースであるバーコードがあるデータの削除も可能です。

[その他の特長]

- ・オプション機能(出力ファイル名詳細設定)によって1つのデータにある複数個のバーコード情報や、1つのバーコード情報の必要な分部のみを利用して詳細な出力ファイル名付けおこないデータを出力します。それらの情報を利用して階層構造のフォルダを作成して出力することも可能です。
- ・オプション機能(キーワード別配信)によってバーコード情報とユーザーから指定された情報で検証を行い条件に応じた指定フォルダへの出力、データの削除などを行います。
- ・オプション機能(バーコードの比較)によって読み取った複数のバーコード情報が一致しているか比較を行い指定の個数以上一致している情報のみ利用するようにして読み取り精度を高めます。
- ・出力フォーマットはTIFF(G4, PackBits, LZW, deflate, JPEG, 非圧縮)、JPEG、BMP、PDFをサポートしています。
- ・異なる種別、全て(複数)のバーコードを同時に認識します。
- ・バーコードを0, 90, 180, 270度の4方向から認識して自動正立を行います。

[動作環境&価格]

> 対応OS

Microsoft Windows XP/Server 2003/Vista/Server 2008/7/
8/8.1/Server 2012/10

※日本語OSのみ対応。

※FUJITSUイメージスキャナ(fiシリーズ)が必要になります。

> 製品名: KDbar1_fi (Light版)

1次元コードの読み取り(RSSを含む)

販売価格: ¥100,000 (税別) / 1ライセンス

製品名: KDbar2_fi (Standard版)

1次元コード, 2次元コード(QR, PDF417)の読み取り

販売価格: ¥150,000 (税別) / 1ライセンス

> オプション機能: バーコードの検証・比較

販売価格: ¥50,000 (税別) / 1ライセンス



Kernel Computer System
カーネルコンピュータシステム株式会社

本社

〒221-0056

神奈川県横浜市神奈川区金港町6-3 横浜金港町ビル6階

TEL: 045-442-0500 FAX: 045-442-0501

<http://www.kernelcomputer.co.jp/>

松山事業所

〒790-0003

愛媛県松山市三番町7-1-21 ジブラルタ生命松山ビル4階

TEL: 089-943-0448 FAX: 089-941-8578